

**【基本理念】** **多様な主体と多世代がつながる支え合いのまち多摩区**

**基本目標 1 多様な主体が参加する地域づくり**

**【めざす方向】**  
 多摩区は地域での様々な地域福祉活動が活発に行われており、多様な主体が日々、地域をより良くするために活動しています。担い手不足が問題になる中、今後も地域福祉活動を継続的に進めていくためには、全ての人(障害者、外国人市民、LGBT などを含む)を支援する側・支援を必要とする側と単純に分けるのではなく、支援される側も時にはできることで支援をする側となります。そのような人たちが地域に増やしていくことが重要です。  
 さらに、若い世代の地域参加を促すために、SNSなどを活用した情報提供の充実により、多様な人材が地域福祉活動に参加することで、活動の活発化や多様化が生まれ、地域福祉推進の原動力となります。

基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(平成30年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	施策(基本方針)への貢献度	所管課
<b>(1)誰もが参加できる健康・いきがいくづくり</b> ⇒区民の健康を促進し、いきがいくづくりを支援するため、誰もが気軽に参加できる場の提供の充実を図ります。	1 子育てグループ支援	多摩区の数か所の子育てグループに対して保健師、助産師、歯科衛生士、栄養士等による健康講話や育児の相談等の支援を実施しました。	グループワークや個別相談を通しての子育てについてのホットな情報を伝え育児相談に応じること、育児の負担軽減や育児の孤立防止を図る取り組みができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	2 多摩区みんなの公園体操	公園や神社等区内35会場で公園体操を開催しています。新規会場3か所が増え、活動の推進により、区民の健康づくり介護予防活動につながっています。	新規会場が増えたことで、区民が健康づくり・介護予防活動にアクセスできる機会が増えており、地域のニーズに合わせた活動の推進ができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	3 多摩区いきいき体操	いこいの家や自治会館等、区内25会場でいきいき体操を開催し、区民の健康づくり介護予防活動の推進を促しました。	区内25会場での開催により、区民が健康づくり介護予防活動に参加しやすい環境を提供できました。今後も地域ニーズに合わせて活動を推進していきます。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	4 多摩区地区ウォーク	登戸地区ウォーク、稲田地区ウォーク、三田地区ウォークを推進委員が開催し、開催回数40回、参加者延べ1200人でした。男性の参加者が増えています。	ウォーキングの普及のため、区民が参加しやすいコース選定をし、多くの方の参加が得られました。地区ウォークを開催し、ウォーキングを通じた健康づくり・介護予防活動の拡大に向けた取組みができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	5 いこい元気広場	区内のいこいの家7か所ですべて週1回、高齢者が運動習慣を身に付けられるよう運動の専門家の指導のもと、実技や健康講話を実施しました。	週1回の運動の実技指導や健康講話により高齢者が運動習慣を身に付けられ、健康づくりや介護予防の推進につながりました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	6 介護予防普及啓発事業	多摩区内5地区で認知症予防教室を開催、2日間1コースで認知症予防の講義やコグニサイズ、歯科や栄養の講義等の内容を取り入れて実施し192名が参加しました。	5地区で実施したことで、区役所には来所しにくい地域の方も参加でき、認知症予防について学ぶ機会を提供できました。次年度も同内容で会場を変更して実施予定。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	7 多摩区健康フェスタ	・地域団体との協働による多摩区健康フェスタの開催(9月16日、参加者692人) ・「多摩区健康フェスタ」実行委員会の開催(年3回+反省会1回)	・多世代交流のためまたま子育てまつりと同日開催し、健康に関する情報発信や体験、活動団体の紹介によって住民の健康づくりへの意識向上ができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
	8 パサージュ・たま	・多摩区役所1階アトリウムでの開催(年11回の開催) ・「パサージュ・たま」運営委員会の開催(広報紙作成年度は2回開催) ・広報紙を6、650部作成し、区内内各自治会に配布(H30年度作成、2年ごとに作成)	・東京パラリンピックを控え、定期的に継続して開催できています。当事者も意欲と活力をもって参加しており、来庁者からも好評を得ています。 H30年度は広報紙を作成し、障害者に対する理解と関心を深めることができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
	9 障害者社会参加の活動	障がいのある人の社会参加促進を図るとともに、ノーマライゼーションの理念に基づき共に生きる地域社会の実現を目指し、ボランティアと協働して月1回、知的障がいの人を対象にした体験活動や交流等を行う事業を通年で実施しました。	地域のボランティアのほか、参加者の保護者もボランティアとして参加し、行政と協働して事業を実施しました。申込者は多く、毎月の活動の出席率もよかったです。障がいのある人もない人も共に生きる地域づくりに貢献できました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	生涯学習支援課
	10 多摩区スポーツフェスタ(◆)	・多摩スポーツセンターでの開催(平成31年3月10日) ・障害者スポーツ、ニュースポーツ体験等及び各種体験教室等の実施 ・多摩区スポーツフェスタ実行委員会等の開催(4回及び運営部会1回)	誰もが参加できるスポーツ体験事業として毎年好評を得ています。また東京オリンピック、パラリンピックを控え、市民の地域スポーツ、パラスポーツへの意識向上に努めています。H30年度は3、062名の参加がありました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域振興課
<b>(2)保健・福祉人材の育成</b> ⇒子どもや高齢者等に係わる保健・福祉サービスの充実を図るため、人材の育成に努めます。	11 子育て支援者養成事業	・人材育成と活用を目的とした子育て支援者養成事業の実施(講座15回、実習2回、人材活用としての親子ひろばは事業10回 受講生17名、外部聴講生最大7名)	地域の様々な子育て支援活動で活躍できる支援者を養成する場を確保するとともに、親子ひろばを実施することで、幼児期の保護者が孤立することなく安心して居場所を提供することができました。また、親子ひろばを養成講座の活動実習の場と位置付け、地域交流とネットワークづくりの機会を提供することができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
	12 すくすく子育てボランティア事業	会員25名程。区役所の事業等で活動してもらっている。交流会と勉強会の実施を支援した。他課が実施した子育て支援者養成講座にて、ボランティア活動の紹介と新規ボランティアを募りました。	勉強会の講師謝礼をボランティア内で管理しているお金から支払う等、自立してきている。新規ボランティアの希望者はいなかった。H31年度も子育て支援者養成講座にて活動紹介と新規ボランティアを募る予定です。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	13 認知症サポーター養成講座	区民向け養成講座を年8回、小学校においては全14校で実施しました。養成講座修了者向けのフォローアップ講座を年1回開催し、その後の地域活動につながるよう支援しました。また、小学校のフォローアップとして中学校認知症講演会を4校でモデル実施しました。	区役所主催の養成講座は講演会と抱き合わせの形をやめたことで、時間を十分に使うことができるようになり、内容が充実できました。小学校での実施は定着を遂げつつあり、受講したお子さんが中学生になって講演会を聞くことで更に知識を深めることができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	14 食生活改善推進員養成教室	健康づくりボランティア養成教室と3日間を合同開催しました。	16名の申し込みがあり、11名の方が修了した。修了できなかった方にも、食生活改善推進員の仮入会を案内し、来年度の養成教室を受講するよう伝えた。平成31年度も健康づくりボランティア養成教室と3日間合同で実施する。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	15 介護予防・健康づくりボランティア養成教室	11月に3日間1コースで食生活改善推進員の養成教室と合同開催し16名の参加がありました。	教室内で地域活動へのつながりを行い、介護予防健康づくり活動の活性化につながりました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	16 ボランティア学習会	1日目は効果的な運動の実技指導、2日目は地域ボランティア活動の心得について講義しました。67名の参加があり、学習した内容を自身の活動につなげやすいという意見がありました。	健康づくりや介護予防等に関わるボランティアが活動を継続するために必要な知識や技術を身に付けられる内容とし、活動継続につながる学習会になりました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	17 子育て支援者スキルアップ講座(◆)	・全2回 計61名参加。現場で活躍する民生委員や地域の方が実演する内容を加えたことで支援者同士の交流もできた。	・地域において、支援者としての意識の高まりの醸成ができてきた。各サロン等で研修内容を実施する報告もあり、継続実施の声も多い。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連携担当

多摩区役所内各課事業評価シート(案)

	18 保育スキルアップ研修(◆)	・全6回 計420名参加。実践に活かせる実技研修の実施し、技術向上を図る。	・対象を絞るなど目的を明確にすることで、より実践的な研修となった。「視野が広がり講演で得た知識を職場の人材育成につなげていきたい」など前向きな評価が多かった。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連携担当
	19 地域課題解決につなげる地域人材育成事業	地域に目を向けるきっかけを作ることを目的として、各事業の対象を絞り、地域コミュニティカフェの開店、子育て世代向け防災講座、高校生大学生対象の多摩区を知る講座、シニアがシニアに伝える体験講座、計4事業を実施しました。	対象を明確にしたことで、話し合いやワークショップを発売に行うことができ、課題の共有や問題解決に向けての意見出しも行うことができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	生涯学習支援課
<p><b>(3)情報提供の充実</b></p> <p>⇒情報発信を積極的に行うことで、地域に関心を持ってもらい、地域福祉への意識を高めることをめざします。</p>	20 子育てセミナー	子どもの接し方に悩む保護者に対して、発達を促す関わり方や語りかける育児について講師による講話とスキんシップの方法を学ぶ。1回目28組、2回目26組の参加がありました。	アンケート結果より、スキんシップの大切さや手遊びのレパートリーが広がった。スキんシップを通して信頼関係が築けることを学んだ等好評でした。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	21 認知症高齢者介護者教室	参加者の認知症介護上の悩みを引き出すことを目的とした座談会と講師による座談会のファンリテーション、個別相談および認知症当事者が参加した際の専門的対応を実施。年5回実施し、のべ23人の参加がありました。	参加人数が少なく、日常生活で高齢者の残された機能を生かしながら働きかけ、生活の質を高めるような援助や地域での支え合いの重要性を啓発していくことが困難であったことから、次年度は講演会形式での実施予定。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	22 シニア世代への地域活動促進の広報啓発(◆)	・リーフレットを800部作成し、地域包括支援センター等関係機関に配布	高齢者が主体的に集まる地域活動の場として、①教養の向上、②健康の増進、③社会活動、④レクリエーション等の推進に寄与することができました。	3 目標をほぼ達成	B やや貢献している	高齢・障害課
	23 こども・子育て講演会等事業(◆)	・1回 69名参加。親子で一緒に身体を動かし、触れ合うことで、共通の楽しさを体験し育児負担の軽減化、父親の育児参加支援実施。	音楽療法士を招いてリズム遊びを開催。HP等で広報するが早期に予約が埋まる。親子で心地よい時間を過ごせたとの感想多い。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連携担当
	24 多摩区こども・子育て情報収集・発信事業 子育て事業の情報発信(◆) (CMS、SNS、子育てアプリ、市政だより、チラシ等)	・毎月1回12回発行(子育てワンポイント)。HPでは毎月、紙媒体は区役所で配架した	・公立保育園の地域支援事業や地域サロン等で配布。配布を待っており、日々の子育てに活かしている、という声も聞かれる。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連携担当
	25 子育て応援冊子「いっしょにあ・そ・ぼ」の作成、配布 『子育てのワンポイント』の毎月発行(◆)	4500冊を作成し子育て中の親子に配布。幼稚園・保育園等の園庭開放や行事予定を掲載。子育て支援に努めた。	詳細な情報が1冊にまとまっており、便利である、と好評を得ている。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連携担当
	26 安全・快適に暮らせる住まいづくり講習	両親学級受講者に住まいについて、未就学児を持つ親にクスリの効かないバイ菌の話、中・高校生に対して性感染症予防について、保育園や高齢者施設等の職員やヘルパー、区民(町内会等)には感染症予防や食中毒予防について等の講習会を、50回、2933人に対して実施しました。	両親学級では、これから赤ちゃんを迎える夫婦に対し、快適な住まいづくりについて定期的に講習会を開催できています。保育園や高齢者施設職員の衛生講習会は、感染症、食品の内容も盛り込み、施設での衛生面について、広く理解と関心を深めることができました。特に今年度初めて開催した未就学児を持つ保護者に対する講習は好評で予定数を超えて実施しました。これらの講習会を通じて、多くの区民の方に生活衛生に関する知識の普及啓発をすることができ、安全安心な生活の支援に繋げることができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	衛生課
	27 町内会・自治会への加入促進に向けた広報啓発・情報発信(◆)	・区町会連合会による啓発活動(年度当初の展示・啓発物配布、区青少年指導員連絡協議会合同パトロール時の啓発物配布、HPIによる情報発信等) ・稲田地区町連による登戸駅へのバナーラック掲示	多くの方に町内会・自治会の役割を知ってもらったり、加入を呼びかけるなど、広報啓発・情報発信に努めました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域振興課

**基本目標 2 多世代交流でつながる地域づくり**

**【めざす方向】**

子育て世代と高齢者世代は、社会的孤立による不安・不便という共通の課題を抱えています。子育て世代にとっては、子育て環境の変化や、いざという時の支援等の不足があり、高齢者世代にとっては、地域活動への参加機会の減少や、困ったときの担い手不足があります。それぞれの課題の解決には、世代の違う人とのつながりを強化し、多世代で助け合える地域にすることが、ひとつの解決策であり、地域・近所への関心も高め、地域力や組織力を高めます。地域で世代を超えて助け合える地域づくりの支援を通じて、地域のつながりの強化を進めます。

基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(平成30年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	施策への貢献度	所管課	
<b>(1) ボランティア・NPOの活動支援</b> ⇒新たにボランティアやNPO活動を始める人や、既に活動している人達に対し支援を行うことで、活動が充実するよう努めます。	28 多摩区こどもの外遊び事業	・外遊びイベントの開催3回、地域外遊び活動支援(物品貸出、広報支援、人材派遣)計59件	区内の豊かな自然環境を活かした外遊びを通じて、子どもの生きる力や想像力を養うとともに地域でのつながりづくりを進めることができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課	
	29 介護予防グループ支援事業	区内介護予防グループに対して、保健師や歯科衛生士等の専門職による健康相談や健康講話等を行いました。	健康相談や健康講話を行ったことで、参加者やボランティアの自身の健康支援につながり、随時運営の相談にのりグループ活動支援を行いました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課	
	30 地域リハビリへの支援	区内4か所で開催されている地域リハビリに対して、保健師や歯科衛生士等の専門職による健康相談や健康講話等を行い、随時運営の相談にのり地域リハビリの支援を行いました。	健康相談や健康講話を行ったことで、参加者やボランティアの自身の健康支援につながり、随時運営の相談にのり活動支援を行いました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課	
	31 老人クラブ育成事業	【全市的取組】					高齢・障害課
	32 自主防災組織への支援(◆)	・各自主防災組織連絡協議会の訓練等の活動に対して、「川崎市地域防災活動促進助成金」を助成 ・各自主防災組織が、地域での自主防災活動を目的とした防災資器材を購入する場合に、「川崎市自主防災組織防災資器材購入補助金」を助成	・平成30年度は88件の助成金申請がありました。 ・平成30年度は25団体が防災資器材購入補助金を利用されました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	危機管理担当	
	33 磨けば光る多摩事業	・審査委員会を開催し、提案された5事業の中から選定された3事業について実施した。 ・地域課題の解決や賑わいのある暮らしの実現に向けて、自主的、主体的に実施する公益性の高い活動を、地域の団体と協働で取り組んだ。 【参加者数】 ・多摩区障がい児の夢を叶えるチャレンジ教室事業 アートコース ダンスコース各30人、ファイナル発表会 89人 ・川崎の再魅力発見!!かわさきFarmer's Market@川崎市緑化センター事業 第1回 6,000人、第2回 1,300人、第3回 1,300人、第4回 1,500人 ・登戸まちなか遊緑地事業 5月 5,000人、11月 6,000人 ・事業の進捗状況を管理、把握するため中間報告書の提出を受けた。 ・事業決算書及び報告書の提出を受け、事業報告会で事業の最終報告を行った。	・多数の区民の参加を得て、地域課題の解決や賑わいのある暮らしの実現に向けた事業が実施された。 ・過去の実施団体の事業などで区に定着している事業も出ていることから、効果的な事業実施が行われている。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	企画課	
	34 市民活動支援事業	・登録団体間交流の開催(年1回) ・登録団体紹介冊子の発行(年1回)	・参加団体がいくつかのグループに分かれて、各々の活動紹介を行い、登録団体の交流を深めました。 ・登録団体の活動紹介シートを冊子として発行し、登録団体間の情報共有を深めました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域振興課	
	35 地域活動に関する講演会等の開催(◆)	・町内会・自治会の抱える課題の解決に向けた講演会の開催	・若い世代と地域コミュニティについて考える機会として、SNSを活用した地域コミュニティづくりに関する講演会を開催しました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域振興課	
	36 区民との協働によるまちづくり活動実践事業(◆)	・まちカブツ!の開催(年1回) ・多摩★まちCafeの開催(年3回) ・多摩★まち大学の開催(年3回) ・広報紙の発行(年4回、各回2,500部作成・配布) ・出張たまサロンの開催(年2回) ・商店街を通じたエコ啓発活動の実施(通年)	・中間支援的機能の拡充として、区内で活動される20数団体の交流会を実施したり、ジャンルに特化して数団体を招いて区民も含めて交流したり、大学の講師を招いて子育てについて意見交換を行ったりして、団体同士や団体と区民の交流の場を積極的に設けた。 ・まちの課題の抽出とその解決として、区民祭等に出展して区民が考える地域の課題を生で聞いたり、エコ啓発について、エコポイントカードを導入している区内4商店街の後方支援を行ったりした。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域振興課	
	37 市民自主学級・市民自主企画事業	市民団体が提案した長期学級(12回・保育付)、短期学級(6回)、フィールドワークで多摩区を知る事業、子育て中の女性の生き方を模索する事業、計2学級、2事業を団体と行政が協働して実施しました。	どの学級、事業も多くの申込者があり、企画運営する側の市民団体と受講者が同じ目標で課題を共有し、問題解決に向けて話し合うことができました。市民力の向上と地域のコミュニティ形成の活性化につながりました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	生涯学習支援課	
<b>(2) 地域活動・交流の場づくり</b> ⇒世代を超えてあらゆる区民が、地域とつながりを持つことができるよう、区民が参加できる地域活動・場づくりに努めます。	38 多摩区地域包括ケアシステム推進事業(◆)	・区内を5地区に分け地区の特性に合わせた取組の実施 ・イベント開催を通して地域住民の交流の場を設定 ・地域活動の推進、新規活動の立ち上げ補助	住民が主体となり地域課題解決に取り組むための支援として、各地区の実情に応じた働きかけを進めました。 キーパーソンや地域団体等のヒアリング基礎調査をベースに、管地区ではオープンワークショップ、中野島・登戸・生田地区では地域活動を紹介する集会、稲田地区では自治会を対象としたアンケート調査と報告会を実施し、住民や団体相互のつながりを広げ地域特性に応じた地域づくりを進めました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課	
	39 地域子育てサロン: ママ'sサロン	地域で子育て中の親子が集まれる場所として地域のサロン(菅地区、長尾地区、長沢地区、登戸地区)を開催しました。合計1102名がありました。	集団遊びやグループワークを通して子育ての楽しさを伝え育児の孤立化を防止し育児不安や育児負担の軽減を図りました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課	
	40 リハビリ交流会	実施なし		3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課	
	41 マタニティ食育体験教室・親子料理教室	平成30年度よりマタニティブラッシングと同日開催。両親学級3日目は、隔月で実施した。講話のほか天然だしと顆粒だしの試飲や試食を行いました。	62名の方が参加、98%の方が薄味の確認できた、家でも今日の試食を作りたいと回答した。講話のほか天然だしと顆粒だしの試飲や試食を行います。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課	
	42 患者・家族会等のグループ支援	・患者を対象としたデイケアプログラムを毎月開催(年12回)。 ・家族を対象とした家族教室(年3回)と家族会(年2回)を開催。	患者を対象としたデイケアでは、様々なプログラムを実施し、患者のリハビリになっているほか、家族教室では疾患にまつわる学習を行ったほか、家族会では情報や意見交換を行うことで、当事者同士の交流と支えの場となりました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	高齢・障害課	

多摩区役所内各課事業評価シート(案)

43	親子の集いの場づくり事業	・ママとあそぼうばもね 年27回1477名参加。民生委員児童委員の協力のもと3か所実施。	・民生委員児童委員やこ文職員、地域協力者などと地域親子の支援をしながら情報交換を行い、連携をさらに進められた。地域の方々と互いに見守り合っている雰囲気や安心感にもつながって参加につながっている面もあると感じられる。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連携担当
44	だんだんの会(◆)	・生田、宿河原、土淵の3地区で年間275回開催。子育ての悩み相談等子育て支援を実施。	・少人数の中で、子育ての悩みを共有し、月齢や年齢の先輩ママなどからアドバイスをもらうなどして、悩みの解消や子育ての孤立化防止に貢献できた。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連携担当
45	おいでよ！たまっ子～あおぞら保育～(◆)	・年27回 延べ2200名の参加。保育施設職員や在園児、地域親子との遊びを通じた連携の実施。	・研修参加が体制的に厳しい園の職員も散歩中に参加でき、民間園同士の交流の場になるなど、保育の質の向上のきっかけとなっている。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連携担当
46	動物愛護事業	・いのちの授業～いのちの音をみんなで聴こう～の開催(区内小学校5校にて実施) ・「動物愛護フェアinたま区」、「動物愛護パネル展」の開催 ・適正飼養セミナー【災害と向き合うペットとともに】を開催	事業として4年目を迎えるが、おおむね参加者が増加するなど、前年度を超える成果を得ています。平成30年度は昨年度に引き続き、どうぶつ愛護フェアinたま区において、多摩区かわさき犬・猫愛護ボランティアを通じて、猫の譲渡会を開催しました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	衛生課
47	たまたま子育てまつり	・多摩区総合庁舎での開催(年1回、9月第3日曜日開催) ・市民と関係行政機関で構成された実行委員会を年11回開催 ・チラシ3,500枚、ポスター900枚作成し、区内全域に配布	地域全体で子育てを支える環境づくりや子育て支援団体と当事者とのネットワーク構築のため開催。実行委員や参加団体が意欲的に取り組んだ結果、昨年を上回る来場者があり、地域に根付いた活気に溢れたイベントになりました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	生涯学習支援課
48	多摩ふれあいまつり	・多摩区総合庁舎での開催(年1回、6月第3日曜日開催) ・市民や関係団体、行政機関で構成された実行委員会を年10回開催 ・チラシ3,500枚、ポスター900枚作成し、区内全域に配布、当日パンフ9,000枚	区内障害者施設、ボランティア団体、障害者本人・家族等が協力して、障害のある人への理解を深めるために開催。当事者、ボランティア、実行委員等が協力して取り組み、多くの来場者があり、地域のネットワークづくりを促進するイベントになりました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	生涯学習支援課
49	子育てひろば・外国人の子育てひろば	乳幼児期の子どもを持つ親子が自由に出入りできるフリースペース「子育てひろば(毎月第2、第4火午前)」と保護者が外国籍の子育て中の親子が交流するフリースペース「外国人の子育てひろば(毎月第2金午前)」を実施しました。	子育て支援グループの協力のもと、通年で開催しているため、事業の情報が広く区民に知られるようになり、子育て中の親子の居場所となりました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	生涯学習支援課
50	既設公園リフレッシュ事業(◆)	三田第2公園の遊具等公園施設の更新工事を実施しました。	工事にあたり地元と調整をとりながら事業を推進しました。既存の古い遊具等が更新され、利用者からも好評を得ています。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	道路公園センター整備課
51	地区カルテを活用した地域づくり(◆)	各地区での住民参加イベントやヒアリング調査などを通じて地区情報の収集を行いました。	収集した情報を整理し、住民参加の会議や集まりで地区の特徴を示し、地域づくりを一緒に考えるなど、住民主体の活動を支援することができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課

基本目標 3 見守り・支え合いのネットワークづくり

【めざす方向】  
個人や家庭の生活課題が複雑化する中、複数の機関や関係者が関与しなければ解決が難しいケースも増加しています。高齢者、子ども、障害者などのそれぞれの課題に区民、町内会・自治会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、NPO、保健福祉団体、保健福祉サービスを提供している関係機関等、様々な立場の人が協力し合い、連携を深めていくことが重要です。さらに、あらゆる面からきめ細かくサービスを提供できるように、区民・団体・関係機関・行政の連携を強化し、サービスの向上を図ります。

基本方針	具体的取組・事業名	取組状況(平成30年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	施策への貢献度	所管課	
<b>(1)区民・団体・行政との連携</b> ⇒区民・団体・行政が一体となって協力・連携し、支援体制の充実を図ります。	52 多摩区子ども総合支援連携事業	・子ども総合支援連携会議の開催(3回) ・地区会議の開催(計3回) ・多摩区子ども・子育て支援基本方針の改定	子育てに関する団体を集めて会議を行うことで団体同士のつながりを創出し、地域の子育て支援状況を共有することで各団体が連携しやすい環境を整えました。また、平成29年度に実施した「子ども・子育て実態調査」の結果や子育て支援を取り巻く現状を整理し、「多摩区子ども・子育て支援基本方針」の改定を行いました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課	
	53 チーム・たまの活動(◆)	・医療・介護等多職種連携ネットワーク組織と連携した公開講座の開催(2回)	公開講座の開催などを通じて、多職種団体同士のつながりを強化することができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課	
	54 多摩区支え合いのまちづくり推進会議(◆)	・多摩区支え合いのまちづくり推進会議の開催(2回)	多摩区地域福祉計画とその上位概念である多摩区の地域包括ケアシステムを推進するため、地域福祉に関連する取組や地域のニーズ・課題等について各委員から意見伺うことができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課	
	55 多摩区食育推進分科会	第4期川崎市食育推進計画の重点目標と多摩区の課題よりテーマを「乳幼児及び子育て世代の保護者」とした。テーマに合わせて委員を新たに選定し9月5日(水)、1月23日(水)の2回会議を実施しました。	昨年度作成したホームページの乳幼児向けのレシピを充実させ新たに更新し、離乳食教室等で広報しました。また各団体の取組みの情報交換を行い、団体同士のネットワークの構築を進めました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課	
	56 地域ケア会議(個別ケア会議・地域ケア圏域会議・地域ケア推進会議)	テーマを「元気高齢者」とし、「どうしたら元気高齢者が地域で活躍できるか」について、年間3回の会議で検討し、元気高齢者が地域で活動するためのチェック表を作成しました。また、地域包括支援センター2カ所で元気高齢者を視野に入れ色々な検討を重ね、社会資源を作り出し、地域住民と新しいものを考えたりした事例があったため、今年度の活動報告を行ってまいりました。	「元気高齢者」についての地域課題を発見し、元気高齢者が活動している場の現状(当事者・関係者の報告)を共有することにより、関係機関のネットワーク構築ができました。また、元気高齢者が地域で活躍するためのチェック表が作成でき、新たな資源の開発ができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課	
	57 多摩区地域包括支援センター連絡会	【全市的取組】					地域支援課
	58 多摩区健康づくり推進会議	「働き盛り世代(30~40代)の女性の健康づくり」をテーマにして、11名の推進委員の選定を行い、会議を年2回開催しました。会議の中で意見を求め健康に関する意識向上を図るためのポスターを1500部作成しました。	委員の意見を取り入れ、取組む内容や方法を決定でき、健康づくり推進のネットワークづくりができました。次年度は委員の協力を得て、区内関係機関へポスター配布をしていきます。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課	
	59 多摩区食生活改善推進員連絡協議会への支援	月4回の定例会と月1回の運営委員会に出席し、講話や情報提供を行いました。	活動に合わせた講話や情報提供をしたことにより、自主的な健康づくりの普及啓発の支援ができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課	
	60 多摩区要保護児童対策地域協議会実務者会議(◆)	第1回:8/6実施 児童相談所報告、児童家庭相談報告、28年度実務者会議報告、委員自己紹介・機関紹介 第2回:10/1実施 大学教授による講義「聞けば役立つ!実務的な連携のコツ」<大学教授によるSV> 第1回:11/6実施 課内事例検討 第2回:11/8実施 保育所福祉要件についてのケース検討 第3回:1/8実施 研修「他機関の動きや考え方を知る~事例を通して~」	区内の関係機関に参加していただくことで、顔の見える関係ができ、地域における要保護児童に対するネットワークが構築でき、児童虐待の予防、早期発見、早期対応につながりました。SVでは、参加者同士での協議、話し合いの時間を多く設けた結果、参加者から具体的に良かったと好評でした。また、早めに開催通知をしたことにより、これまで少なかった小中からの参加が複数ありました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課	
	61 公立保育所の地域支援推進事業	【全市的取組】					保育所等・地域連携担当
	62 多摩区幼・保・小連携事業	【全市的取組】					保育所等・地域連携担当
	63 民営保育所・保育施設等への訪問・連携(◆)	【全市的取組】					保育所等・地域連携担当
	64 年長見担当会議・保育の交流(◆)	【全市的取組】					保育所等・地域連携担当
	65 多摩区地域自立支援協議会	【全市的取組】					高齢・障害課
	66 多摩区精神保健福祉連絡会議	・全体会議(年4回)・作業部会(年3回)の開催 ・精神保健福祉に関する講演会(年1回)の開催 ・講演会チラシを16,000部作成し、学校や医療・福祉の関係機関へ配布	平成30年度は「思春期・成人期にかけてのメンタルヘルス」と題し、医師と当事者に発達障害についてお話しいただき、支援関係者、当事者、当事者家族など様々な立場の方より「具体的にわかりやすい」と好評を得、理解が深めることができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	高齢・障害課	
	67 区社会福祉協議会との連携(◆)	関係各課において必要に応じてお互いが所管する情報のやりとりを行いました。	地域活動を進めるための情報を交換するなど必要な連携をとることができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している		
<b>(2)支援につながる仕組みづくり</b> ⇒支援につながる仕組みづくりをすることで、地域のネットワークを	68 川崎市地域見守りネットワーク事業	通報件数:7件	住民と接することが多い民間事業者との連携を通して、異変や支援を必要とする人を早期に発見し、地域社会全体での見守りを実施することができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課	
	69 災害時要援護者避難支援制度	・災害時要援護者に関する情報の更新	・平成30年度における災害時要援護者新規登録者数26件	3 目標をほぼ達成	B やや貢献している	危機管理担当	

多摩区役所内各課事業評価シート(案)

強化し、支援を必要とする人々の要望に応えます。	70 民生委員児童委員の活動支援	・民生委員児童委員の委嘱・退任等の手続き ・民生委員児童委員欠員解消のための地域への働きかけ ・市民から民生委員児童委員に対する相談・依頼の窓口	・平成30年度の委嘱・退嘱手続きを計4件を行いました。 ・欠員地区を解消するため町会・自治会へ候補者推薦依頼を行いました。 ・市民からの相談等で民生委員の対応が必要な件について、民生委員に情報共有し連携を行いました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
	71 多摩区子育て支援パスポート事業	・2076件の新規発行 ・中野島音楽祭およびまたま子育てまつりにおける普及活動、再発行受付 ・当該事業HPのウェブアクセシビリティへの対応	子育て世帯やこれから出産を控えた世帯に、地元商店街で各種サービスが受けられる「子育て支援パスポート」を発行することで商店街に行くきっかけ作りをし、地元商店会等による子育て世帯への声かけや見守りにつながるしくみづくりを促進できました。 また、当該事業HPのウェブアクセシビリティへの対応を行い、より広い範囲の地域住民が情報にアクセスしやすい環境を整えました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
	72 ひとり暮らし等高齢者見守り事業	【全市的取組】				
⇒様々な関係団体等と連携を強化することで、相談・支援体制の充実を図ります。	(3)相談・支援体制の充実					
	73 こんにちは赤ちゃん訪問事業	10月・2月に訪問員連絡会を開催し、10月には「多世代で支える地域の子育て」をテーマに学習会を兼ねて実施しました。 1月には訪問員養成講座を開催し、新たに8人の訪問員が加わりました。	H30年度は230件のこんにちは赤ちゃん訪問を実施し、多世代・地域交流のきっかけとして広く地域で活動しています。新たに8人の訪問員が加わり、H31年度は89人の訪問員で継続して活動していきます。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	74 幼児の発達支援事業	1歳6か月児健康診査後のフォロー教室として月1回開催し合計155組の親子が参加しました。3歳児健康診査後のフォロー教室として月1回開催し合計105組の親子が参加しました。	早い時期から保護者の育児負担や子どもの発達特性に合わせた支援を行うことで育児負担を軽減し、子供の発達を促すことができました。個別相談も合わせてフォローにつながる事ができたと考えられます	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	75 多摩区こども相談窓口(◆)	ちらしを9000部印刷し、幼稚園・保育園、小中学校、こども家庭センター、子育てひろば、民生委員、その他福祉施設等に配布しました。また、小中学校については1年生全員にも配布しました。	昨年までは11月に発行していたものを6月に発行することによって、小学校訪問に併せて持参して校長に趣旨説明しながら配布することができました。結果、ちらしで相談先を知ったというケースの来所もあり、効果があったと考えられます。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
76 市民歯科健康事業(◆)	【全市的取組】					地域支援課